

## 令和4年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和5年1月19日

協議会名: さくら市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域公共交通計画策定事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③計画等の策定等に向けた方針
<p>1.現況整理 内容:地域特性、既存公共交通の現況、上位・関連計画におけるまちづくりの方向性を整理した。 結果:現状における本市の公共交通に関する課題・問題点を抽出するとともに、今後の地域公共交通ネットワークの構築に向けて、満たすべき要件を整理した。</p> <p>2.調査 内容:市民アンケート調査(15歳以上の市民を対象、2,000人無作為抽出)、市内乗合タクシーの利用実態調査(登録者全件調査)、交通事業者へのヒアリング調査を実施した。結果:公共交通に関する市民のニーズや利用意向及び、公共交通ネットワーク構築を見据えた交通事業者の意向や将来の方向性等について把握した。</p> <p>3.現状・課題の分析及び、今後の方向性の整理 内容:上記結果を踏まえ、持続可能な地域公共交通ネットワーク構築に向けた課題や問題点を整理するとともに、それらの解消及び、アンケート調査等に基づき整理した地域住民のニーズに適応した、今後のさくら市における公共交通ネットワークの方向性を取りまとめた。 結果:計画内容の検討に向けて、指針となる全体の方向性を明確にした。</p> <p>4.協議会開催 内容:地域公共交通に係る関係者による協議会を開催した。 結果:計画策定に向けた調査内容や、整理結果・調査結果を受けて今後の交通体系のあり方について、多角的立場から吟味した。</p>	<p>A 当初の計画どおりに、事業は適切に実施される見込みである。</p>	<p>【計画策定・実施について】 次年度に前計画の評価・検証及び、具体的施策等、本計画の内容の検討を行い、令和5年度末に計画策定予定</p>

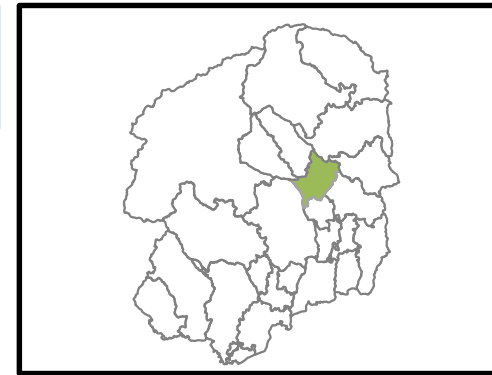
# 令和4年度 さくら市地域公共交通活性化協議会（栃木県さくら市） （地域公共交通計画策定事業）

## 公共交通の概況・地域の特徴

本市は、旧氏家市内に位置する、JR氏家駅を中心としたエリアと、旧喜連川市内に位置する市役所喜連川支所周辺エリアという2つの市街地とその周辺の集落部分からなる都市構造を有している。そのため、市街地間の移動や集落部から各市街地までの移動に関して、公共交通の整備が必要となる。

市内の公共交通は、関東自動車による路線バスがJR氏家駅を起点に、最長で隣接する那珂川町まで運行しており、主に氏家・喜連川の地区間輸送を担っている。また、地区内輸送として、氏家地区、喜連川地区それぞれを運行区域にしてデマンド型の乗合タクシー（コンタ号・うのはな号・つういんコンタ号）を運行することで、公共交通空白地域の解消を実現している。

また、観光施設協会が運行している観光温泉バスを筆頭に、市内の観光資源である喜連川温泉へのアクセスについても、温泉施設、宿泊施設等の事業者が主にJR氏家駅を起点に送迎サービスを行っており、市内の生活移動輸送のみならず、市外からの観光移動に係る輸送についても、一定の需要が見られる。



## 地域の抱える問題点・計画策定調査の必要性

近年、自動車での移動が中心の生活スタイルが定着化し、公共交通の利用者の減少が著しくなっている。

本市においても、さくら市地域公共交通網形成計画に基づき、計画的な公共交通施策を実施しているが、コロナ禍の影響もあり公共交通の利用者は減少、路線維持のための補助金等、財政負担も増加傾向にある。

こういった状況を踏まえて、今後は、自治体、運行事業者、さらには地域住民や民間送迎バスが一体となって共有し、八方よしとなるような効率的な運行方法や利用促進策等を展開し、より一層の少子高齢化の進行や働き方をはじめとした社会環境の変化といった、将来を見据えた交通環境の構築を目指す必要がある。

このために、本市の公共交通機関の運行・利用状況、地域住民の特性や公共交通に対するニーズ、コロナ禍の影響をはじめとする社会環境の変化や今後の見通しといった、地域公共交通の利用や維持・存続に関わると考えられる様々な状況を広く調査し、現状を把握することが不可欠である。

## アピールポイント

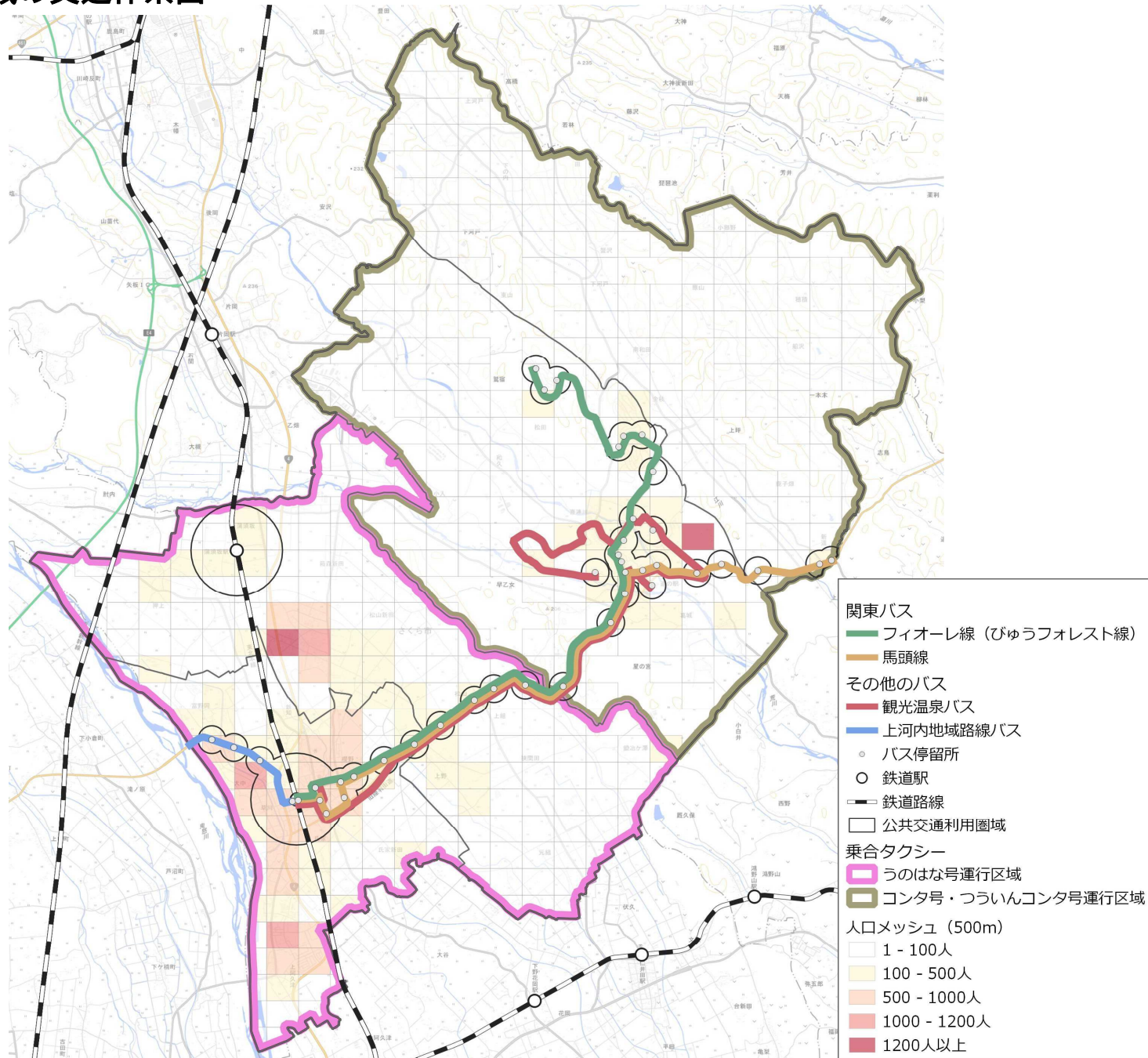
- 公共交通を取り巻く現況の整理においては、GIS等を活用し、人口分布、生活関連施設といった地域特性に係る情報や、路線バスの運行ルート、利用圏域などを、500mメッシュ単位で整理し、より詳細な分析を行った。
- 市民及び乗合タクシー登録者の意向に際して実施したアンケート調査では、日常の外出先や公共交通の利用といった、移動に関する基本的な設問のほか、新型コロナウイルスの感染拡大に係る影響・意向や、公共交通を取り巻く課題を踏まえて、新たに設問項目を設定した。
- 利用属性、利用者の傾向、利用者からの要望・意見など、データでは把握できない既存公共交通の利用状況について、交通事業者を対象としたヒアリングにて把握するとともに、将来的な公共交通ネットワークにおける交通事業者に求められる役割を見据えて、既存交通に係る運行状況や将来的な方向性、事業者における今後の更なる発展性なども踏まえて分析した。
- 地域公共交通計画の策定と併せて、既存交通の再編も並行して検討し、両者が一体となった計画づくりを図っている。

面積	125.63km <sup>2</sup>
人口（R4.4.1時点）	43,856人
15歳未満	5,958人
65歳以上	11,888人
高齢化率	27.11%

## 協議会開催状況

- 協議会の開催状況 2回開催
- 【第1回（令和4年5月17日）】
  - ・令和3年度デマンド交通事業の実績報告について
  - ・令和5年度地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について
  - ・地域公共交通計画の策定と法定協議会の設置について
- 【第2回（令和5年1月19日）】
  - ・令和4年度デマンド交通事業の事業評価について
  - ・さくら市地域公共交通網形成計画の進捗状況について
  - ・さくら市地域公共交通計画（仮称）策定に向けた取組状況について

# 【資料1】地域の交通体系図



## 【資料2】本計画の構成

### ◆第1章 計画の概要

○計画策定の目的、計画の位置づけ、計画の対象区域、計画の期間など、計画の概要を示します。

### ◆第2章 公共交通を取り巻く現状と課題

○地勢・地理、人口推移・推計、人口分布状況、主要施設立地状況、日常生活における移動状況、自動車保有状況、交通事故発生状況などの社会経済データを示します。

○地域公共交通の現状として、鉄道、路線バス、乗合タクシー（うのはな号、コンタ号、つういんコンタ号）、その他のバス（観光温泉バス等）や地域旅客サービス等の現状を示します。

○上位・関連計画における公共交通に関する施策の位置づけ、地域公共交通に求められる役割等を示します。

### ◆第3章 計画の基本理念・基本方針・目標

○基本理念、市街地や郊外部などの地域区分と公共交通の基本的な考え方、基本方針、基本目標、各地域公共交通の役割、関係者（市民、交通事業者、行政）の役割などを示します。

### ◆第4章 目標達成に向けた施策

○計画に位置づける各施策の概要、実施主体、今後の取組、取組のイメージ、他地域の事例、取組スケジュールなどを示します。

### ◆第5章 目標の評価指標と計画の進行管理

○基本方針等を実現するための評価指標、計画の進行管理方法などを示します。

### ◆資料編

○策定経過、さくら市地域公共交通会議の委員名簿、用語解説などを示します。